

わんりん

シルバーは人の輪・知恵の輪・地域の輪
題字・厚木市長 小林常良

発行元 公益社団法人
厚木市シルバー人材センター
所在・厚木市松枝 2-5-17
TEL・046-224-9585
FAX・046-222-8559
E-mail・atsugisc@sjc.ne.jp
URL・http://www.atsugi-sjc.org



皆さまからのお問い合わせをお待ちしています。
046-224-9585まで

- ①家事援助
- ②高齢者福祉
- ③育児支援
- ④除草・草刈
- ⑤植木剪定
- ⑥襖・障子張替
- ⑦パソコン出張指導
- ⑧宛名書き
- ⑨修繕(大工・塗装など)
- ⑩倉庫内作業など

仕事の受注拡大を!

- 個人・家庭からの仕事や、企業からの継続的な仕事の受注拡大を図っています。ご近所の方や以前勤務していた会社をご紹介ください。
- 豊かな経験や能力を生かして、お客様が満足する仕事を心掛けましょう。
- お引受けできる仕事

会員を募集しています

家事援助などに従事できる女性会員の募集強化を図っています。ご近所、お知り合いの方をご紹介ください。

入会の資格

- センターの目的に賛同する方
- 厚木市内に在住の 60 歳以上で健康で働く意欲のある方

入会手続き(会員登録)

- ・入会説明会受講
- ・毎月第 2 水曜日 午前 10 時
- ・接遇研修会受講
- ・毎月第 3 水曜日 午前 10 時
- ・入会申込書・承諾書・配分金振込届の提出
- ・理事会承認
- ・年会費 3 千円納入

年頭のあいさつ

理事長 志村 利夫



新年あけましておめでとうございます。

会員並びに職員の皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃から当センターの事業運営に対しまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年のシルバー人材センター事業についてであります。が景気は穏やかな回復軌道にあるものの、産業のグローバル化の進展等から全国的に受注金額が減少傾向にある中、当センターにおきましては、平成 26 年 11 月の時点での前年度同期と比較し約 7 % の増加で、平成 26 年度の目標を概ね達成できる見込みとなつております。

このことは、ひとえに会員、役職員が一丸となつて、リーフレットや機関紙「ねんりん」の配付、事業所訪問などをはじめ、請け負った仕事の完成度、親切丁寧な対応、ボランティア活動等を開拓していくことによるものであり、心から感謝申し上げます。

私たちを取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が続くことが予想されます。が、市民の皆さま、市内の事業所、更には厚木市の理解と協力をいただきながら、公益法人として適正な事業運営に努めると共に、地域社会に密着した活力と魅力のあるシルバー人材センターを目指してまいります。

会員の皆さまにおかれましては、従来に増して作業の安全第一を中心掛け、事故を引き起こさない決意と心構えで就業していただくことを要請申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって明るく、活力と希望に満ちた幸多い年となりますよう、そして益々お元気でご活躍されることを心からご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

年頭のあいさつ

厚木市長 小林 常良



明けましておめでとうございます。

厚木市シルバー人材センターの志村利夫理事長を始め、役員並びに会員の皆さまには、平成二十七年の輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

貴センターにおかれましては、「自主・自立・共働・共助」の基本理念の下、高齢者の就業機会の確保と提供等を積極的に展開し、厳しい経済状況の中で堅実な事業運営をしていただいております。これもひとえに役員並びに会員の皆さまのご尽力の賜物と、深く敬意を表する次第でございます。

さて、我が国は団塊の世代が高齢期を迎える上での課題で、貴センターはこの移行しつつあり、高齢者が地域社会に積極的に参加し、地域の活性化を担う意義は高まっています。こうした中、就業機会の確保は、生きがいづくりや福祉の増進を図る上で喫緊の課題で、貴センターはこの課題に対して堅実な実績を上げておられ、心から感謝申し上げます。

本市は、二月一日に市制施行六十周年を迎えます。貴センターの皆さまをはじめ、多くの方々のたゆまぬ努力が、今日の厚木市の基礎となっています。次の七十年、百年を市民の皆さまが夢と希望をもつて迎えることができるよう、本市の将来都市像「元気あふれる協働・交流都市あつぎ」の実現に取り組んでまいります。また、この六十周年に併せて、「(仮称) 地域ふれあい都市宣言」を宣言します。近年、人と人との関係の希薄化が課題となつておりますが、「ふれあい」や「つながり」は私たちの暮らしの原点であり、皆さまの活動は、まさに「ふれあい都市」を体現いただいているものだと思います。これからも生き生きと元気に活動をしていただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴センターの益々のご発展と、この一年が役員並びに会員の皆さまにとって良き年でありますようご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

とし女

とし男

今年は末年です。人情味があり温かみを感じさせる会員3名に登場願いました。

素晴らしい仲間と共に

岡本 清美(恩名)

昭和 18 年生まれ



6年前の入会後、1年近くたつてから若宮公園テニスコートの仕事を紹介いただきました。

6人が早番、遅番の交代で働くので月にすると10日くらいでしようか、お客様は受付を済ませると2時間は運動を続けるのでその間に館内の掃除、また

したために、仲間ともスムーズに連絡が取れるようになり、これからも活用して行きたいと思います。急ぎの場合は、先輩たちに電話で相談をし、駆けつけにいただいたこともありました。この様により環境の中で、素晴らしい仲間と助け合いながら楽しく過ごしています。今後は若いころを思い出しながら、もう一度パソコンを始めようかと思っています。

これからも「和」を大切に

小堀 康子(森の里)

昭和 18 年生まれ

自宅の植木の手入れでシルバーサンにお世話になった御縁もあり、また人と接すること、体を動かすのが好きなので昨年2月に入会しました。最初の仕事は、本厚木駅周辺の自動車と自転車と歩行者の通行状態の調査集計の作業でした。寒さがつらい時もありましたが、貴重な体験でした。その後、事務所から連絡があり、思い切って受けたのがアミューあつぎの仕事です。

大空のもと伸び伸び

東海林 稔(中荻野)

昭和 18 年生まれ

ですので、対応に困ったこと、相談したいこと、難しいことが起きた時のため、連絡ノートを作りました。どうしましたか?どう思われますか?など起つたことを書いておく習慣に

駐車料金も発生しますし、管理が慣れない人が多いために最初は計算を間違えないよう皆で気を配るように心掛けたり、大変でした。いつも室内の仕事を第一線を退いて後方の仕事をゴルフ三昧をしていました。



が、今ではよい仲間が出来た

ても嬉しいことです。私は介護関連にも興味があり

家事援助班が希望者を募集しているお年寄りのために自分の出来ることでお役に立てたらと思っています。

今後もお客様の信用を失わない様に注意をしながら続けたいし、同年代の人との挨拶や話ができることが一番で、「和」を大切にしていきたいと思っています。また日常の生活には変化が

衰えを感じ、四十年の美容師生活を終え、店の経営を妻に任せていきました。いつも室内の仕事を第一線を退いて後方の仕事をゴルフ三昧をしていました。三年前、近所のシルバー会員の勧めがあり入会しました。現在は除草班班長をしています。同年代の仲間と大空のもとで働くことが、とても楽しく今が一番充実しています。仕事以外の話題でも仲間と話していると元気がもらえるしボケ防止にもなる、一人の力でなく皆の協力があつてこそ仕事を終えたときの達成感は格別です。



仕事の無い日は
退屈です。
今はウォーキング
が趣味で、

鷺尾山、荻野川などを散策して自然に親しんでいます。除草班個々の小さな付き合いはあります、全体の親睦の集まりがあるといいかなとも思っています。

私は、長年美容師の仕事を自営していました。十年前腕の

各委員会の活動実績報告

平成 26 年度実施計画のテーマ

「会員の増強」「受注の拡大」「組織体制の充実」「安全就業の徹底」「財政基盤の確立」「安全就業の徹底」に基づいた各委員会の活動状況を紹介します。

地域活動委員会

組織体制の充実

委員長 望木文夫

- ① 受注拡大及び会員増強を両輪に、認知度向上のための「普及啓発リーフレット」と会報「ねんりん」特別号の全戸配付
- ② 「シルバーの日」に、12 地域班による公共施設等の除草・清掃の社会奉仕活動を行い、シルバー事業の社会的意義アピールまた、来年度に向けて全地域班で実施の検討
- ③ 地域班の役割の周知や普及啓発活動のための独自活動の実施
- ④ 繁忙期における就業体制の構築のため、会員からの就業の応募を取りまとめ、事務局との連携による就業体制の整備
- ⑤ 「地域班の役割とその活動」についての冊子を新規会員のための接遇研修会で活用

広報委員会

情報公開

委員長 庄司耕治

- ① 会報「ねんりん」の発行
- ② 会報第 83 号の発行（6 月）
- ③ 会報第 84 号（特別号）の発行（10 月・睦合北・南・西・緑ヶ丘の各地区は全戸配付）
- ④ 新規事業の検討

総務委員会

会員の増強

委員長 荻山清治

- ① 広報媒体を活用した会員増強の展開
- ② 民間企業定期訪問時にリーフレットの活用（8 ～ 9 月・業務開拓委員会と連携）
- ③ 会報「ねんりん」特別号への配付（10 ～ 11 月）
- ④ 会員増強の記事掲載（10 月）
- ⑤ 女性会員募集強化のための新たな組織等の検討

業務開拓委員会

受注の拡大

委員長 宇喜田英郎

- ① 広報媒体を活用した受注拡大の展開
- ② 普及啓発リーフレットの全戸配付（10 ～ 11 月）
- ③ 会報「ねんりん」特別号への掲載（8 月・12 月）
- ④ 体験接遇マナー講話の実施
- ⑤ 総務委員による講話（4 回）
- ⑥ 体験接遇マナー集作成（10 月）
- ⑦ 会員登録情報の整備の検討

安全管理委員会

安全就業の徹底

委員長 古館博士

- ① ホームページのリニューアル実施（12 月）
- ② 市長直接対話への参加（10 月）
- ③ 広報委員会の活動紹介
- ④ 意見交換（高齢者の社会貢献および厚木市への思い・望むこと）
- ⑤ 就業先別マニュアルの整備
- ⑥ 安全・適正就業のための制度検討（ガイドラインおよび賠償事故による会員自己負担額等）
- ⑦ 安全指導や講習会の充実
- ⑧ 安全ニュースの発行
- ⑨ 6 月（平成 25 年度事故分析）10 月（安全・適正就業、健康管理）
- ⑩ 受注拡大の記事掲載（10 月）
- ⑪ 役員・会員による就業開拓の推進
- ⑫ 既存会員および入会申込者管理
- ⑬ 接遇研修会時（毎月 1 回）
- ⑭ 会員の経歴を活用した受注拡大（地域班会議で趣旨説明および継続展開）
- ⑮ 会員企業等への定期訪問（29 企業ほか）
- ⑯ 理事および委員会委員による第 1 回地域班会議開始前および終了後
- ⑰ 応急処置講習会（10 月）
- ⑱ 安全パトロールの強化
- ⑲ 7 月～11 月計 12 回実施
- ⑳ 事故分析
- ㉑ 健康診断受診の啓発
- ㉒ 市営自転車等駐車場指定管理者への応募（事業計画の作成およびヒアリング審査への参加）
- ㉓ 安全スローガン協議
- ㉔ 『安全は基本に勝る術は無し』



平成26年度定時総会における定款変更の決議に伴い、第55条に定める公告の方法が「電子公告」に改正されました。このため、閲覧者の利便性の向上、経営情報開示に伴う管理者の明確化の見地からホームページの内容および更新環境の見直しを実施しました。

新しいHPアドレスは

<http://www.atsugi-sjc.org/>

です。皆さまの訪問をお待ちしております！

安全・適正就業のための制度検討

安全管理委員会では、安全・適正就業のためのガイドラインおよび賠償事故による会員自己負担額等について検討しています。

今後、素案を理事会で協議し、第2回地域班会議で説明します。

ホームページを変更しました

受注拡大・会員増強へ リーフレット・会報全戸配付

昨年10月から11月に各地域班

の会員約700名のご協力をいただき、市内の個人・家庭に受注拡大・会員増強のためのリーフレット、また、睦合北・睦合南・睦合

西および緑ヶ丘の各地区の全戸に会報特別号の配付を実施しました。

全戸配付の実施により、平成26年度（4月～11月）の契約金額は2億8千65万円で、前年度対比1千934万円（7.4%）増加しました。受託件数は3463件で、前年度対比23件（0.7%）増加しました。

全戸配付に参加の会員の皆さまのご協力に感謝申し上げます。

* 事業実績詳細は8面に掲載

安全標語が変わりました 冬の対策大丈夫？

当センターの安全スローガンが

「安全は基本に勝る
術は無し」

に変わりました。

この標語は、神奈川県シルバーセンター連合会の安全就業標語募集に我々の仲間である千葉進

会員が応募し、入選した作品です。さて、会員の皆さん「お客様に急がされた」「この程度なら一人で出来ると思った」そのような

経験はありませんか？つい「作業効率を優先させたり」「確認の手間を惜しんだり」…やはり

基本の軽視はケガや事故のもと、「安全は基本的に勝る術は無し」の精神で安全就業を心掛けましょう。

思い出そう昨年2月の豪雪 冬の対策大丈夫？

これ迄に経験したことのない豪雪でした。幸い会員への被害は有りませんでしたが、息を切らして荒天の雪道を急ぐなどは持病を持つ者や高齢者にとっては予想以上の過負荷となり、とても危険な行為です。

① 家族が「今日は止めたら」と言つたら無理しない。
② 「俺がやらなければ…」などと思つても、先ずセンター事務局に相談する。

など事故の危険性を回避することも会員として責任ある判断です。センター事務局では、災害時の連絡体制を強化しています。安全重視の対応をお願いします。

冬期の自己管理をしつかりと

冬期の自己管理をしつかりと

- ① うがい・手洗い
- ② 十分な休養と栄養補給
- ③ 人混みの中ではマスク着用
- ④ 予防接種でインフルエンザ

などの励行で、この冬を元気で乗り切りましょう。

平成26年度事故事例 (4月～11月)

傷害	自転車で帰宅途中に転倒する。(入院)
賠償	植木剪定で枝葉が落下し、駐車車両を傷つける。
	草刈(機械)で石を飛ばし、駐車車両を傷つける。
	駐車場でターンテーブルの操作を誤り、後続車両を傷つける。

シルバーの日

各地域班でボランティア

厚木市シルバー人材センターでは、10月第3日曜日を「シルバーの日」と定め12年目となりました。



今回も天候に悩まされました
が、12地域班で公共施設などの
除草・清掃作業を行いました。
社会貢献活動を通じて、会員
と地域住民との交流が図られ、
今後、受注拡大に繋がることと
思っています。
参加された会員の皆さん、大
変ご苦労さまでした。

羽田で会員の集い

南毛利地域班 寺西班長

昨年 11 月 9 日（日）前年に続

いて、参加者 23 名で日本航空整備場と羽田第 2 空港ターミナルの社会見学を行いました。

整備場の見学は人気が多く 6
か月前で瞬時に一杯になってしまい
ます。幸いに予約が取れ、
空港行きリムジンバスとモノレ
ールを利用しました。

整備場見学は、展示エリア・
航空教室・格納庫見学に分かれ、
展示エリアでは機長や客室乗務
員の制服での記念撮影が高い人
気で皆さん楽しんでいました。

航空機についての講義後に、
格納庫見学で旅客機を目の前に



空港ターミナルは旅行で利用する人は多いと思いますが、ビル内を見学する機会が少なく、自由時間を取り思い思いに見学しました。

近づくに旅客機の離着陸する様子も見え、有意義な時間を過ごしました。最後は 777 型機を背景に記念写真をパチリ。

整備について説明があり、またシルバー人材センターに入会した動機などを話してもらった後に「会員の増強」と「受注の拡大」について意見交換を行い、多くの意見が出され、その内容を事務局に提出しました。



「会員の増強」と
「受注拡大」を目指し

依知北地域班 伊藤班長

（組織体制の充実）を図る観
点から、地域班として、初めて
日帰り親睦旅行を 10 月 22 日（水）



余興では、小島靖子会員の奇術（手品）手馴れた手さばきに見取れ、参加者大拍手、各人のカラオケで盛り上がり、その歌に合わせて、笹生健一、伊藤チセ子会員の社交ダンスまで披露され、食べて、飲んで、仲間同士の親睦が深まり、楽しいリフレッシュした一日でした。

に、13名の参加で行いました。

当日は、厚木の奥座敷七沢温泉で、まずは、肌がつるつるになる肌に優しい強アルカリ温泉につかっただ後、会員の自己紹介、シルバー人材センターに入会した動機などを話してもらつた後に「会員の増強」と「受注の拡大」について意見交換を行い、多くの意見が出され、その内容を事務局に提出しました。

家事援助サービス

シリーズ 14 回目は三田にお住まいの米元あや子さんにお話を伺いました。

退職して家に居たのですが、だんだんと食事を作らなくなり、いざ作りましょうと思つても材料が不足していたり手順が悪かつたりで、これではいけないと思い、外に出て色々な人の触れ合いが必要だと感じる様になつたのがシルバーへ入るきっかけになりました。

最初は月に 1、2 度の掃除の仕事をしておりました。今は家事援助の仕事を 2 軒受け持つています。

その内の 1 軒は奥様の体調が

すぐれず、日常の買い物が困難で小学生のお子様が 3 人いらっしゃるご家庭のお食事作りに週 3 回、2 時間ずつ行っています。まず、お宅に伺い食べたいもの聞き買物に行きます。最初は「カレー」と言わされたので買出しに行き料理をして帰りました。次の約束の日に食べたいものを聞くと、又カレーのリクエスト!? こんなリクエストが



毎回美味しくてくれるので、それが何よりも楽しめます。

ぴり心配になり、今回はこんなメニューはどうかしら? とヒントを言うと、それお願ひしますと言つてくれるようになり、だんだん目先の違う料理を作るようになりました。牛丼・餃子・ホットケーキ・卵ステップ、今ではリクエストに応えるのも大変な程にメニューも増えました。

センターやお友達の夫婦が、毎回美味しいと食事をしておりました。今は家事援助の仕事を 2 軒受け持つています。

センターにもお願いをしていましたが、1 軒に長く仕事をしていると、同じようなパターンの料理になつてしまふし、お互に馴れ合いが出来てしまふので、1 年から 2 年での交代も必要なケースがあると感じています。

【取材後記】

お料理のお話を伺つていてうちに、我が家も頼みたくなつてしまふ程工夫をして、料理をされているなど感心しました。

我が家の簡単レシピ

ひじきと豚しゃぶサラダ

投稿 佐藤邦子さん（荻野南）

● 材料
キャベツ 4~5 枚
ひじき(戻したもの) 10 g
豚肉(シャブシャブ用) 150 g
玉ねぎ 1/4 個
●たれ はちみつ
酢
こぶ茶
醤油
サラダオイル
白炒りゴマ
大さじ 2
小さじ 2
大さじ 4
大さじ 6
大さじ 1

● 作り方

たれは先に作つておく。

① キャベツは一口大に切り茹である。ざるに上げ冷ましておく、水気をよく絞る。

② キャベツを茹でたお湯で豚肉を茹でる、熱いうちにたれを絡ませておく。

③ ひじきは水に戻したものと湯に通しておく②と同様にたれを絡ませておく。

④ 玉ねぎは薄くスライスし水にさらし 2~3 分したらペーパー等で水気を取つておく。

⑤ ①②③をボールに入れ混ぜる。

投稿写真より岡田さん（まつかげ台）の写真を掲載しました。

投稿写真



◎ 器に盛りスライスした玉ねぎ、白炒りゴマを乗せ全体にたれをかける。(食べる前にかけた方がよい)

応募方法 メール又は電子媒体で締め切り 4 月 10 日(金) メール 0070atsugisc@sjc.ne.jp

事業の報告(9月～12月)

○第4回理事会(9月30日)

審議事項「平成27年度予算編成方針」、「正会員入会申込者」、「安全ストーガン」の3件が議題となり、原案のとおり承認され、「平成26年度理事長・副理事長及び常務理事の職務執行報告」と「平成26年度委員会進捗状況」の報告がありました。

○第1回応急処置講習会

実施日 平成26年10月30日
場所 生きがいセンター
内容 AEDを用いた心肺蘇生法等救命講習

参加人数 13名

事業の計画(1月～3月)

実施月 平成26年10月～11月
場所 各地域班
内容 公共施設の除草・清掃普及啓発リーフレット等配付

○第2回応急処置講習会

実施日 平成27年1月19日
場所 生きがいセンター
内容 AEDを用いた心肺蘇生法等救命講習

募集人数 20名程度
講習会の申込みは事務局まで
TEL (224) 9585

平成26年度事業実績 (4月～11月)

※()は前年同期

受託件数	3,440件 (3,323件)
就業延人員	62,182人 (61,616人)
就業率	89.1% (89.1%)
契約金額	261,311,355円 (260,253,950円)

第2回地域班会議が左記のとおり開催されます
地域班長からの開催通知に対し、出欠席の有無を必ず回答して下さい。

平成26年度第2回地域班会議日程表

地域班名	開催日時	場所
厚木南	2月9日(月)10時00分	厚木南公民館2階集会室
厚木北	2月9日(月)13時30分	厚木北公民館2階集会室
依知南	2月10日(火)13時30分	依知南公民館2階集会室
相川	2月10日(火)13時30分	相川公民館1階集会室
陸合北	2月12日(木)10時00分	陸合北公民館1階大会議室
南毛利	2月12日(木)13時30分	南毛利公民館1階集会室
依知北	2月13日(金)13時30分	依知北公民館1階集会室1・2
陸合南	2月13日(金)13時30分	陸合南公民館2階集会室
荻野北	2月16日(月)13時30分	上荻野分館1階集会室
愛甲	2月16日(月)13時30分	愛甲公民館1階集会室
荻野南	2月17日(火)13時30分	荻野公民館2階集会室
小鮎	2月17日(火)13時30分	小鮎公民館2階集会室
陸合西	2月18日(水)13時30分	陸合西公民館2階集会室
緑ヶ丘	2月18日(水)13時30分	緑ヶ丘公民館2階学習室
玉川	2月19日(木)10時00分	玉川公民館1階会議室
荻野東	2月19日(木)13時30分	荻野公民館2階集会室
森の里	2月20日(金)13時30分	森の里1丁目自治会館集会室

平成26年分「配分金支払証明書」を1月下旬に郵送いたしましたので、確定申告・市県民税申告にご利用ください。

編集後記
 会員の皆さまには、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。さて、広報委員会も新メンバーになって3回目のねんりん発行となりました。皆さまにとつて読み易く、また充実した記事内容を目指して「日々に新たに、また日々新たなり」の気持ちで広報誌の充実に取り組んでまいります。今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

会員数(平成26年11月30日現在)
・男性812人・女性288人
合計1100人